

令和4年度指定管理者評価結果

評価対象期間	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	施設所管課	生涯学習課
施設名	夢広場はるひ（清須市立図書館・清須市はるひ美術館・はるひ夢の森公園）		
指定管理者	TRC・名古屋三越グループ共同事業体		
指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日		

評価結果

評価項目	評価結果	評価、改善すべき点等
1. 施設サービスの実施体制	A	人員体制、利用料金の取り扱い、記録管理、個人情報保護などについて概ね適正に行われている。また、記録管理も適正であり、職員間で共有されている。危機管理については年に2回、通報訓練、消火訓練、避難訓練を行い職員の防災教育に努めた。
2. 市民サービスの内容や水準	A	ホームページについては適宜更新し、新しい情報を提供していた。苦情や要望などについては真摯に受け止め、必要に応じ対応していると思われる。施設の維持管理については、設備の点検など適宜行われていた。また、備品等で修繕の必要がありB評価がついた月もあるが、計画的に対応していた。図書館と美術館のコラボ企画については、はるひ美術館館長アートトークや清須アートラボの図書館での開催、自治体や大学、民間企業との連携事業の開催で利用促進を図った。
3. 施設の収入支出の状況	A	公園の収支は、若干収入が上回ったが、図書館・美術館はマイナスであった。指定管理料で賄っているため問題はないと捉えている。電気・ガス料金の価格高騰分については支援を行った。
総合評価	A	図書館・美術館においては、新型コロナウイルス感染症対策をしながら開館をした。図書館は開館10周年を迎え、それに因んだ講演会や児童向けのイベント等を実施し多くの参加があった。また、年間の貸出し点数も令和3年度（287,891冊）を更新し、過去最高の301,662点となった。美術館は入館者数が伸びなかったが、公募展の受賞者を紹介する「アーティストシリーズ」や地域にゆかりのある作家の展覧会などの開催、生涯学習講座や館長アートトークの実施など教育普及活動も継続して行っている。公園利用については適正な利用を図ることに加え、指定管理者においても更なる有効活用を期待する。図書館、美術館、公園とも施設の管理を概ね適切に行い、サービスの充実に努めたことが評価できる。

S = 優良、A = 良好、B = 課題含、C = 要改善

参考統計

○図書館関係

（各年度3月末現在）

	年度	入館者数	貸出人数	貸出冊数
図書館	2	98,279人	47,880人	250,986冊
	3	129,461人	55,063人	287,891冊
	4	155,741人	58,314人	301,662冊

○美術館関係

	年度	入館者数	開館日数	観覧料等収入額
美術館	2	23,378人 (うち特別展 17,272人)	216日	9,933,580円 (うち特別展 9,144,350円)
	3	9,321人 (うち特別展 1,930人)	239日	1,425,690円 (うち特別展 1,020,150円)
	4	9,027人 (うち特別展 1,208人)	260日	1,172,700円 (うち特別展 430,300円)
公園	2	—	—	579,830円
	3	—	—	624,480円
	4	—	—	744,650円